



FAVA福岡大会の概要

第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会は、主催がFAVA、(公社)日本獣医師会で、福岡県、福岡市が共催として2022年11月11日から3日間、ヒルトン福岡シーホークにて開催されます。

開会式では、世界獣医師会(WVA)の会長や日本政府の関係省庁大臣、福岡県知事、福岡市長のご臨席が予定されております。

また、ノーベル生物学・医学賞を受賞された本庶佑先生による「免疫チェックポイント阻害因子の発見とがん治療への応用」の記念講演や「アジアからのワンヘルスアプローチ」を大会テーマとして、アジア・オセアニア地域をはじめ世界中から多数の獣医師、医療関係者や著名な環境問題の研究者が集い、ワンヘルスに関する最先端の研究・活動の講演が行われます。

寄附金 募集要領

日本獣医師会は、FAVA大会の主催者として新型コロナウイルス感染症を克服し、通常の日常生活や経済活動の再出発を期する記念すべき国際大会となるよう必ず成功させる所存でございます。

つきましては、諸事ご多忙な折、誠に恐縮ではございますが、第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会及びFAVAの活動の趣旨にご理解とご賛同を頂き、皆様から格別のご支援とご高配を賜りたくお願い申し上げます。

- | | |
|-----------|--|
| 1. 寄附金額 | 一口 10万円 |
| 2. 募集期間 | 令和5年3月31日(金)まで |
| 3. 寄附金の使途 | このたびの寄附金は、第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会及びFAVAの活動に係る費用に使用します。 |
| 4. お振込先 | 銀行名 三菱UFJ銀行(0005)
支店名 青山通支店(084)
区分・口座番号 普通預金 No. 0424986
口座名義 公益社団法人日本獣医師会(シャ)ニホンジュウイシカイ |
| 5. 問い合わせ先 | 公益社団法人 日本獣医師会 FAVA大会準備室 赤坂事務所(福岡)
TEL: 092-751-4749 Email: jimukyoku6@e-fukujyu.com FAX: 092-751-4751 |

税額の優遇措置について

本会は、内閣総理大臣より「公益社団法人」として認定されており、本会への寄附金には、特定公益増進法人としての税法上の優遇措置が適用されます。

【受領書(領収書)をご希望の場合】

寄附金の受領書をご希望の場合は、「受領書希望」の旨と下記①～⑦を明記の上、本会事務局あてEメール又はFAXにてご連絡をお願いいたします。

ご連絡頂いた個人情報は本会の個人情報保護に関する関係規程に基づき適切に管理いたします。

【受領書発行を希望される場合に必要記載事項】

- ①寄附金名(第21回FAVA大会及びFAVAの活動に係る寄附金)、
- ②氏名・法人名(受領書の宛名)、③住所、④電話番号、⑤寄附日(送金日)、⑥寄附額、⑦振込人名

アジア獣医師会連合会 (FAVA)

FAVA大会、FAVAへのご支援のお願い



主催 公益社団法人日本獣医師会 アジア獣医師会連合
共催 福岡県 福岡市

公益社団法人 日本獣医師会
公益社団法人 福岡県獣医師会

ご挨拶



FAVA大会長・次期会長
藏内 勇夫
日本獣医師会 会長

新型コロナウイルス感染症をはじめ、新型インフルエンザ、重症急性呼吸器症候群(SARS)、エボラ出血熱、狂犬病など人と動物の共通感染症の発生や、薬剤耐性(AMR)が世界中で恐れられ、その対策、対応が喫緊の課題となっています。

日本獣医師会は2010年に「動物と人の健康は一つ、そして、それは地球の願い。」という獣医師会活動指針を採択し、「ワンヘルス」の実践を日本医師会や福岡県、関係機関と連携しながら取り組んできました。

特に2016年11月に北九州市で開催された「第2回世界獣医師会-世界医師会“One Health”に関する国際会議」で採択された「福岡宣言」に掲げられた人と動物の共通感染症の予防、抗菌剤の責任ある使用、医学・獣医学教育の改善整備について、積極的に実践してまいりました。

また、福岡県では2020年1月に、日本国内はもとより世界でも類を見ない「ワンヘルス推進基本条例」を制定し、医師、獣医師、医療関係団体ばかりでなく県民を挙げて「ワンヘルス」を巡る課題の解決に向けた社会活動を推進していくことになりました。

これらを踏まえ、2022年11月11日から3日間、アジア獣医師会連合(FAVA)と日本獣医師会は、ワンヘルスの先進地である福岡県において第21回FAVA大会開催します。テーマは「アジアからのワンヘルスアプローチ」とし、アジア・オセアニア・太平洋地域をはじめ世界中から多くの関係者に福岡県へ集まっていただきます。

また、同大会終了後も継続的にワンヘルスを実践するため、FAVA日本事務所の福岡県での設置を目指し、ワンヘルスの拠点Fukuokaを世界にアピールします。

つきましては、諸事ご多忙な折、誠に恐縮ではございますが、第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会やFAVA日本事務所設置の趣旨に、ご理解、ご賛同を賜り、皆様からの格別のご支援、ご高配を賜りたく、お願い申し上げます。

皆様のご健康とご発展を心よりお祈り申し上げます。



令和4年2月16日
日本獣医師会による表敬



Q1 アジア獣医師会連合(FAVA)とは?

アジア・オセアニア・太平洋地域23カ国の獣医師会の連合組織です。FAVA内の獣医師数は約40万人です。1978年に設立され、本部はタイのバンコクにあります。日本獣医師会は設立当初から関わってきました。現在、ワンヘルスなどの6つの常設委員会を設け、感染症や薬剤耐性菌対策、食の安全の確保、獣医学教育の向上など広範囲にわたり積極的に活動しています。

Q2 FAVAは主にどのような活動を行なっていますか?

アジア・オセアニア・太平洋地域を中心とした地域の公衆衛生の推進に寄与するため、新興・再興感染症等の発生予防及びまん延防止や薬剤耐性菌対策に加え、人と動物の健康、環境保全などを含めた「人と動物が共生できる」持続的な社会を目指しています。具体的には

- 1)ワンヘルスの推進による感染症対策や環境保全
 - 2)動物福祉の向上
 - 3)医薬品の適正・慎重な使用への教育や啓発
 - 4)食品の安全基準の向上による食の安全・安心の確保
 - 5)獣医学教育を中心とした加盟国の教育水準の向上支援
- などの情報発信や、専門家研修、住民への啓発活動などを実践しています。

Q3 第21回FAVA大会を福岡で開催するそうですが、その意義はどのようなもののでしょうか?

世界でも類をみないワンヘルスの先進地、福岡県で開催される同大会を、国内外の獣医師はもちろんのこと医師、医療関係者、研究者、県民の皆様が「ワンヘルスをより理解し、実感できる機会」とします。この大会を契機として、福岡県から「人と動物の健康及び健全な環境が調和した社会」をアジア・オセアニア・太平洋地域に更に広げてまいります。

Q4 FAVA事務所が日本に開設されるそうですが、どのような活動を予定されていますか?

FAVA日本事務所においては、特にワンヘルスの推進を行ってまいります。ワンヘルスは、世界保健機関(WHO)や国際獣疫事務局(OIE)、国連食糧農業機関(FAO)、国連環境計画(UNEP)など国際機関が取り組み、また2021年G7サミット、カービズベイ保健宣言にて推進が合意されるなど、世界的な大きなうねりとなっています。FAVA福岡事務所は、これら国際機関はもちろんのこと、国や福岡県、福岡市をはじめとする市町村とも連携して、アジア・オセアニア・太平洋地域各国にてワンヘルスの推進を行います。

また、国内外の関係者を福岡県に招き、国際交流を更に進めます。

Q5 FAVA事務所の福岡設置は、地元にとってどのような意味がありますか?

FAVA事務所の福岡設置は、以下の効果があります。

- ・アジアの玄関口として人と動物の共通感染症リスクが高いとされる北部九州の発生予防につながります。
- ・FAVA関係者はもとより、海外からのインバウンドや国内の視察、修学旅行等により交流人口の増が見込まれ、福岡県の認知度や経済効果の向上が期待されます。
- ・ワンヘルス関連の学術、教育レベルの向上や、健康や環境保全を先進的に取り組む福岡県の国際的な知名度やイメージが上がります。
- ・国に要望しています「アジア新興・人獣共通感染症センター(仮称)」の九州への誘致を後押しすることにより、同センターの設置の折には、国際機関や国内外の大学・研究機関との連携の中核として九州・福岡県の世界的な重要性が一層高まります。

このように、FAVA日本・福岡事務所は、福岡県を経済発展と環境保全のバランスを備えた健康や環境に関する高度情報集積都市として、世界にアピールしてまいります。